

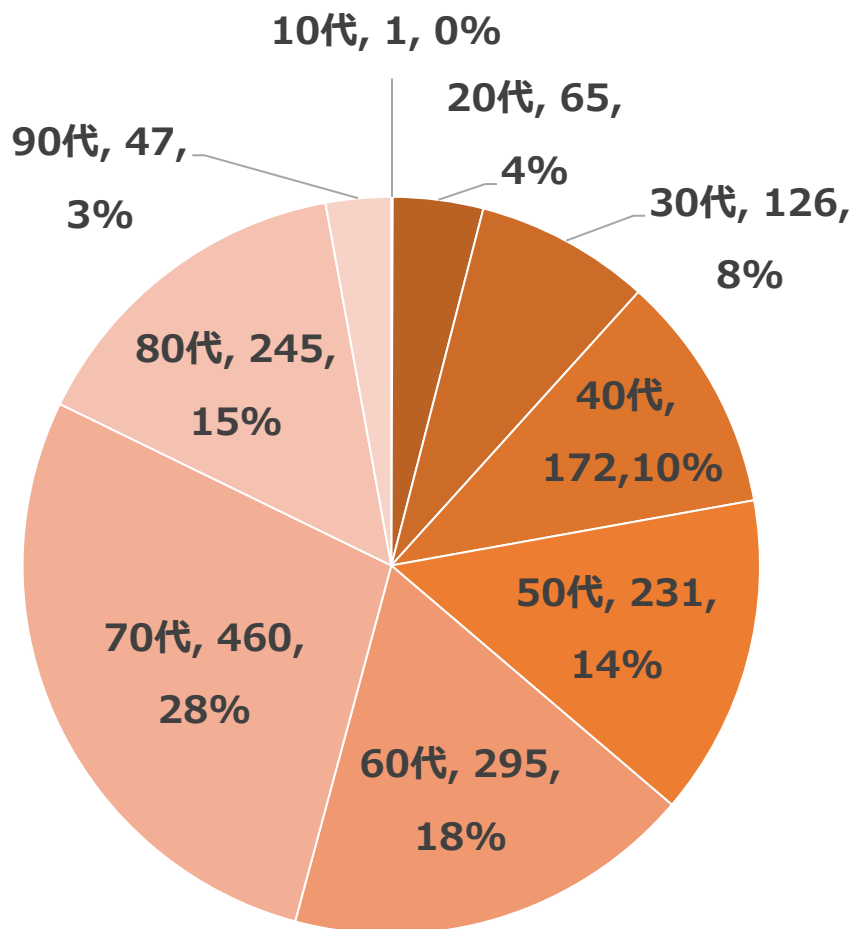
# 都城保健所管内の難病患者への 就労支援の取組について

福島葵<sup>1)</sup> 小園郁美<sup>1)</sup> 永石朗子<sup>2)</sup> 益留真由美<sup>2)</sup> 坂元昭裕<sup>3)</sup>

都城保健所<sup>1)</sup> 中央保健所<sup>2)</sup> 都城兼小林保健所<sup>3)</sup>

# 都城保健所管内の現状

1.はじめに



**65歳以下の就労率：65%**



就労に関する困りごとや  
支援の必要性について  
十分に把握できていない

令和7年3月末時点 受給者1,642名

# 1 難病患者の就労支援の実状の把握

## 令和6年度 都城北諸県地域難病対策協議会

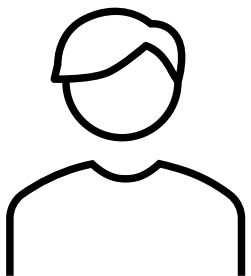
### テーマ：「就労」

就労支援の実態・課題  
の情報共有。


委員に、  
就労支援（相談）  
機関を追加

		所属名
1	医療	一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元総合病院
2		医療法人社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック
3		宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 県南県西支部
4		藤元総合訪問看護ステーション
5		公益社団法人都城市北諸県郡医師会
6		独立行政法人国立病院機構 都城医療センター
7	就労	都城公共職業安定所
8		みやこのじょう障害者就業・生活支援センター
9	福祉	一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会 都城・北諸県支部
10		みやこのじょう総合相談支援センター糸
11	行政	都城市役所 障がい福祉課
12		都城市役所 福祉課
13		三股町役場 福祉課
14		三股町役場 高齢者支援課
15	その他	宮崎県難病対策協議会
16		宮崎県難病相談・支援センター

### 令和6年度 都城北諸県地域難病対策協議会



難病患者は障害者手帳所持者に  
比べ、相談窓口や支援制度の周知  
が十分ではない。



相談可能な機関を周知するための媒体として、  
リーフレット及びポスターを作成しよう

令和6年度 都城北諸県地域難病対策協議会 作業部会

### 掲載内容を協議し、リーフレット及びポスターを作成

構成委員：就労支援機関5団体、医療機関1団体、宮崎県難病相談・支援センター

	所属名
1	独立行政法人国立病院機構 都城医療センター
2	一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元総合病院
3	都城公共職業安定所
4	みやこのじょう障害者就業・生活支援センター
5	宮崎障害者職業センター
6	宮崎産業保健総合支援センター
7	宮崎県難病相談・支援センター

### リーフレット（表面）

### 難病と診断されたみなさまへ

～お仕事について～ 

体調を崩さないように今の仕事を続けられるだろうか、求職中だけど体に無理がかからない仕事を見つけられるだろうか、難病のことは伝えた方が良いのか、、、等不安を抱えていませんか。

あなたは一人ではありません。

あなたらしく働くために、「治療と仕事の両立」や「お仕事探し」について、相談できる場所があります。



安心して暮らせる  
社会をつくって  
いこう

**5月23日は  
難病の日**

一般社団法人日本難病・疾病団体協議会（JPA）難病の日ポスター 2024年度優秀作品

都城北諸県地域難病対策協議会 令和7年3月作成  
（宮崎県都城保健所健康づくり課 TEL：0986-23-4504）

◆求職時、無理なく活躍できる仕事を探すためにお手伝いします。  
（難病の方の就労を後押しする制度もあります。）

◆治療と仕事の両立を支援するための機関があります。病状や通院等の治療のために仕事の継続が難しいと感じている場合、退職や転職の判断をする前に、ぜひ一度ご相談ください。  
（※社会保険の方は、傷病手当金についても在職中の確認をお勧めします。）

◆もし、どうしても転職を考えなければならない場合でも、辞めた後に相談するのではなく、再就職までの時間的・経済的余裕を確保するため、失業保険等の制度の効果的な活用も含めて、早めにハローワークへ相談しましょう。

**\* 相談窓口一覧 \***

裏面のマップを参考に、  
ご相談ください。

**A 宮崎県難病相談・支援センター**

- 電話：0985-31-3414 (FAX: 0985-41-7677)
- メール：miyanan-c@bird.ocn.ne.jp
- 住所：宮崎市原町2-22  
県福祉総合センター本館2階
- 相談日：平日 10:00～16:00


A

**B ハローワーク都城**

- 電話：0986-22-1745 (部門コード：43#)
- 住所：都城市上町2街区11号 都城合同庁舎1階
- 相談日：平日 8:30～17:15

※混雑時、お待ちいただく時間が長くなる場合があります。時間に余裕を持って、体調の良い日にお越しください。窓口で、「難病がある」ことをお伝え下さい。


B

**C 宮崎障害者職業センター**

（障がい者手帳をお持ちでない難病の方も利用可能です）

- 電話：0985-26-5226 (FAX:0985-25-6425)
- メール：miyazaki-ctr@jeed.go.jp
- 住所：宮崎市鶴島2丁目14-17
- 相談日：平日 8:45～17:00


C

**D みやこのじょう障害者就業・生活支援センター**

（障がい者手帳をお持ちの方や、医師の診断を受けた方が利用可能です）

- 電話：0986-22-9991 (FAX:0986-22-9992)
- メール：jiritu@btvm.ne.jp
- 住所：都城市中町1街区7号 IT産業ビル1階
- 相談日：平日 8:30～17:30 (12:00～13:00を除く)




(宮崎労働局) (宮崎県)

D

**E 宮崎産業保健総合支援センター**

- 電話：0985-62-2511 (FAX:0985-62-2522)
- メール：miyasanpo@miyazakis.johas.go.jp
- 住所：宮崎市祇園3丁目1番地  
矢野産業祇園ビル 2階
- 相談日：平日 8:30～17:15 (12:15～13:00を除く)


E

○出張相談窓口・・・国立病院機構 都城医療センター（※要予約）  
相談日：毎月第3木曜日 9:30～11:30 電話：0120-411-329

# 2 就労支援相談窓口一覧の作成

### リーフレット（裏面）

難病では、疾病と付き合いながら生活をする必要がある「持病」として、慢性疾病化しているものも多くあります。治療を続けながら生活される中で、「体調の崩れやすさ」等のためにお困りになることがあるかもしれません。様々な相談機関があります。状況に応じてご利用ください。

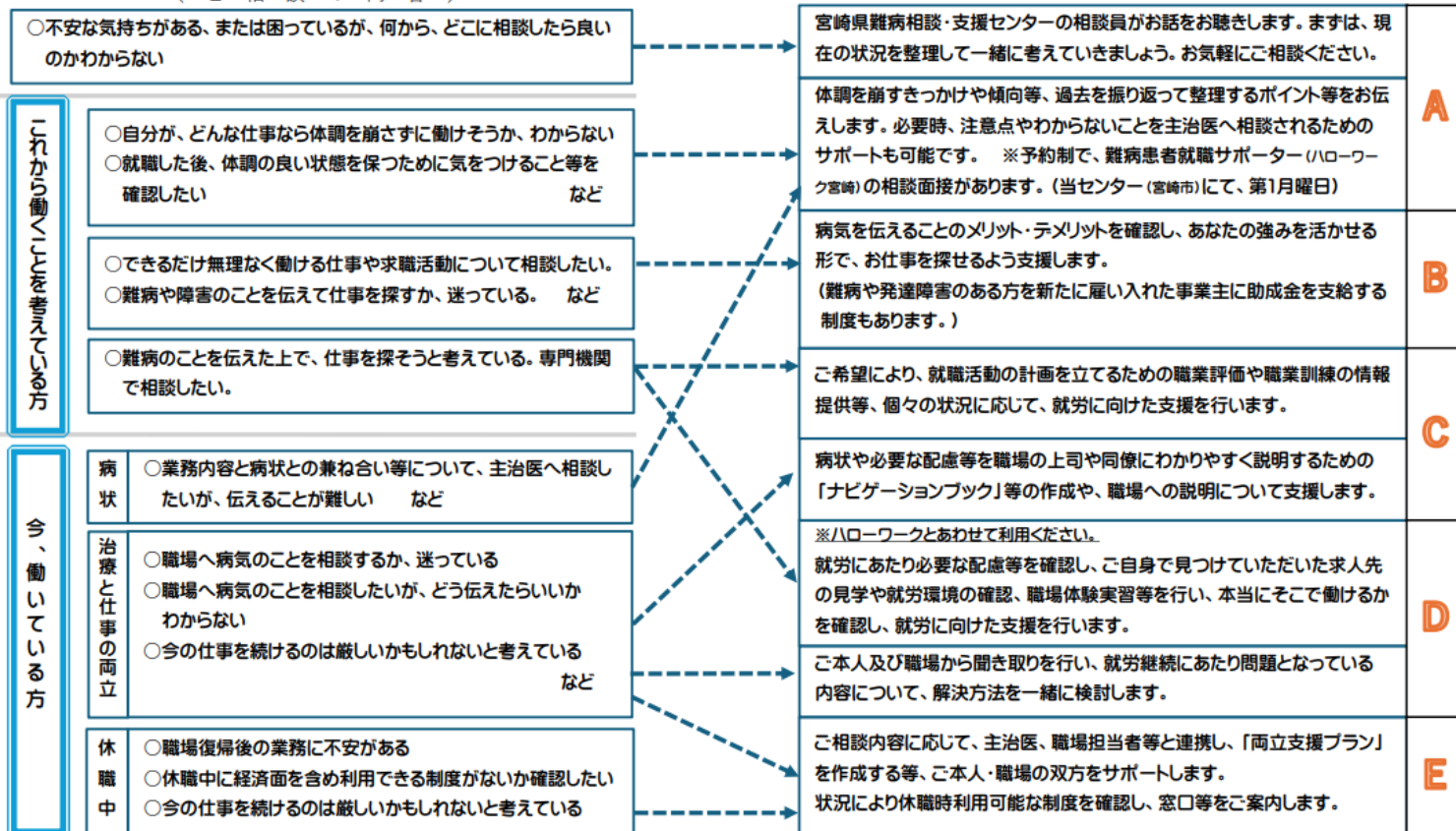
ご相談は、  
全て無料です。



### ＊ 相談マップ ＊

（ご相談の内容）

（相談先）



相談先の連絡先等は、表の「相談窓口一覧」をご覧ください。

ご相談の内容によっては、他の相談窓口をご案内することもあります。

### ポスター

<令和7年度>

- リーフレットの配布  
受給者約1,700名へ送付
- ポスター、リーフレットの配布  
管内指定医療機関・薬局、協議会委員、  
管内市町など232施設へ送付
- 保健所ホームページへの掲載

**始まっています！  
難病のある方の就労支援**

「治療と仕事の両立」や「お仕事探し」について、相談できる場所があります。病状を管理しながら、あなたらしく活躍できるようサポートします。

私の強みを活かせるのは、どんな仕事だろう。

今の職場でこのまま働き続けられるか不安、、、

職場に難病のことを相談したいけど、どう伝えたら良いかな。

休職から復帰した後、体調をくずさないように働けるだろうか、、、

困っているけれど、何からどこに相談したら良いの？

安心して暮らせる社会をつくって  
いこう

**5月23日は  
難病の日**

一部団体・個人による提供、宮崎県協議会（SPA）難病の日のポスター 2024年度発行済み

相談先はこちら！

【相談先】 相談は無料です。

宮崎県難病相談・支援センター	0985-31-3414
ハローワーク都城	0986-22-1745
宮崎障害者職業センター	0985-26-5226
みやこのじょう障害者就業・生活支援センター	0986-22-9991
宮崎産業保健総合支援センター	0985-62-2511

都城北諸県地域難病対策協議会 令和7年3月作成 (宮崎県都城保健所健康づくり課 TEL: 0986-23-4504)

# 3 難病患者へのアンケート調査 (就労、療養生活)

## II. 活動内容

### アンケートの調査の概要

#### ●対象

65歳以下の難病患者 749名  
(回答者146名、回答率19.5%)

#### ●期間

令和7年9月24日 ~ 10月31日

#### ●方法

受給者証交付時にアンケートを同封、  
電子申請または保健所窓口で回収

#### 令和7年度 療養状況に関するアンケート調査

令和7年9月 郡保健所

本アンケートは、難病患者さんの療養状況を把握し、今後の支援に役立てることを目的に実施するものです。御協力をお願いいたします。  
電子申請(右 QR コード)または、FAX(0986-23-0561)にてご回答ください。  
URL <https://ttzk.graffer.jp/pref-miyazaki/smart-apply/surveys-gl/ias/miyakono14504>

受付期間: 10月31日(金)まで



- 回答者: 患者本人 家族 その他( )  
○患者性別: 男 女 その他  
○患者年齢: ( )  
○病名: ( )  
○患者の身体障がい者手帳の有無: 有( 級: 難病・難病以外) 無

#### 【療養生活について】

問1 療養生活を送る上での困りごとや心配ごとがあればお書きください。

問2 困りごとや心配ごとに対して、どのような支援があると良いと思いますか。  
(複数選択可)

- 1 相談支援 2 難病患者や家族の交流の場 3 病気や福祉制度等に関する講演会  
4 福祉制度等に関する情報提供 5 災害への備えの周知 6 その他

\*希望される支援内容を具体的に御書きください。

例: リハビリや食事について聞きたい

※以下は、患者様本人が65歳以下の方のみ回答してください。

#### 【就労について】

<就労に関するリーフレット(黄色紙)を併せて回答してください>

問1 難病の方の就労支援の窓口を知っていましたか。

- 1 知らなかった(リーフレットで初めて知った) 2 知っていた

問2 難病の診断を受けて以降、治療と仕事の両立のために、リーフレットに記載されている相談窓口を利用したことがありますか。

- 1 利用なし  
2 利用あり  
→以下、利用したことがあるもの全てに○を付けてください(複数選択可)

ア 宮崎県難病相談・支援センター イ ハローワーク ウ 宮崎障害者職業センター  
エ みやこのじょう障害者就業・生活支援センター オ 宮崎産業保健総合支援センター

<治療と仕事の両立について>

問1 難病の診断を受けて以降の就労状況について教えてください。

- 1 現在、仕事に就いている  
2 現在は無職だが、過去に仕事していた  
3 仕事に就いたことがない

問2 現在、就労(または就労活動)に関して、何らかの困りごとや悩みはありますか。

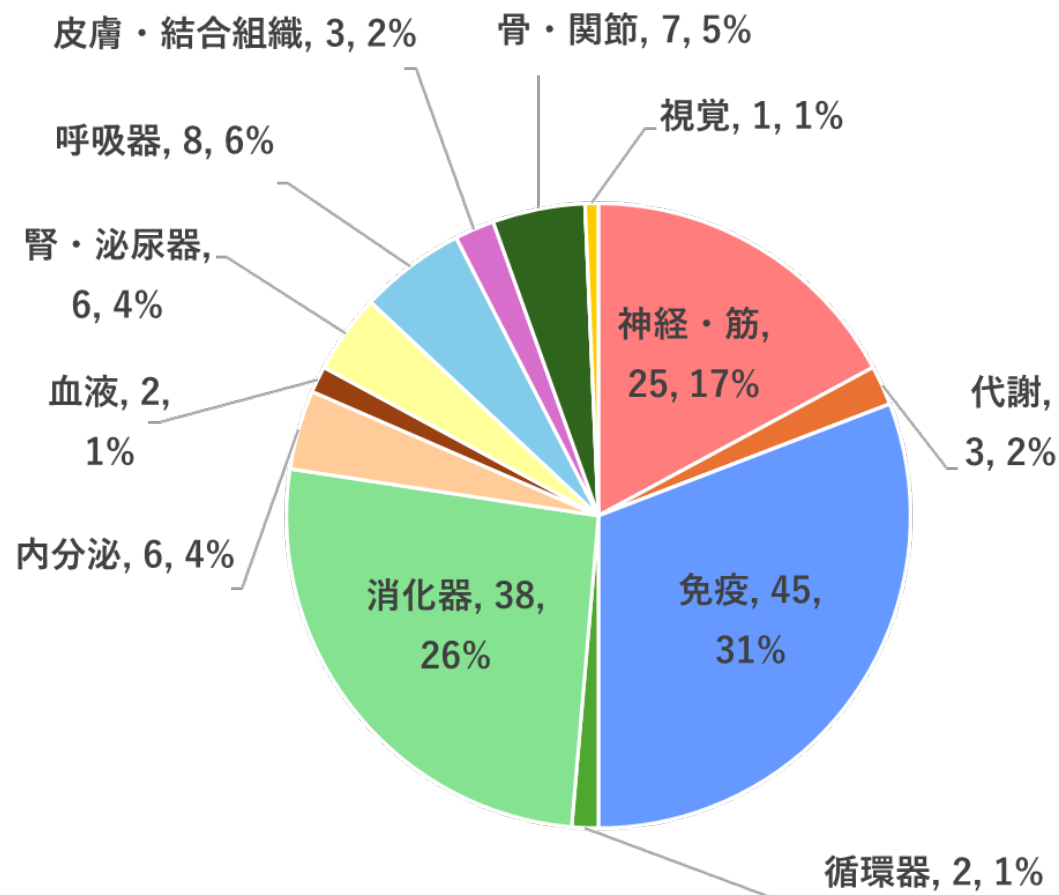
- 1 ある  
→ 問3へお進みください  
2 ない  
→ アンケートは終了です

# 3 難病患者へのアンケート調査 (就労、療養生活)

II. 活動内容

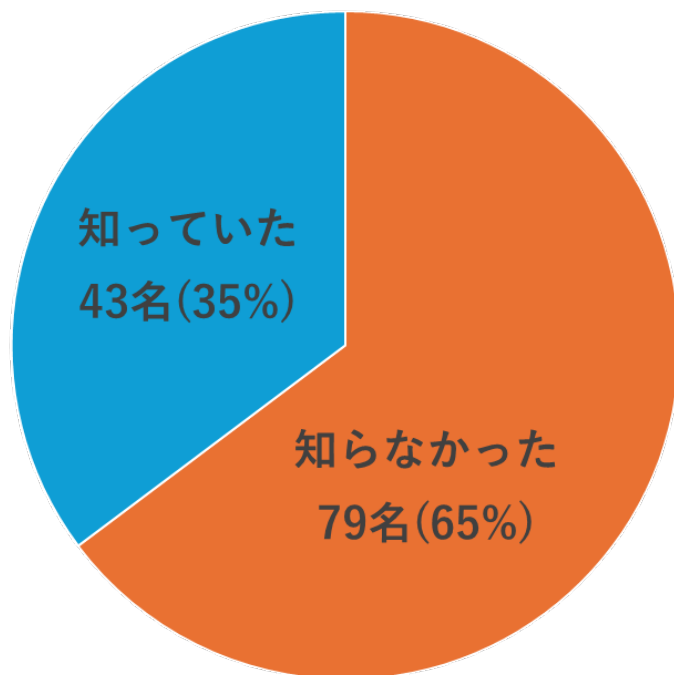
● 回答者：146名（回答率19.5%）

	アンケート結果		65歳以下の 受給者割合
	回答者	回答率	
神経・筋	25	17%	16%
代謝	3	2%	2%
染色体・遺伝子	0	0%	0%
免疫	45	31%	25%
循環器	2	1%	3%
消化器	38	26%	26%
内分泌	6	4%	6%
血液	2	1%	2%
腎・泌尿器	6	4%	5%
呼吸器	8	5%	4%
皮膚・結合組織	3	2%	2%
骨・関節	7	5%	7%
聴覚	0	0%	0%
視覚	1	1%	2%



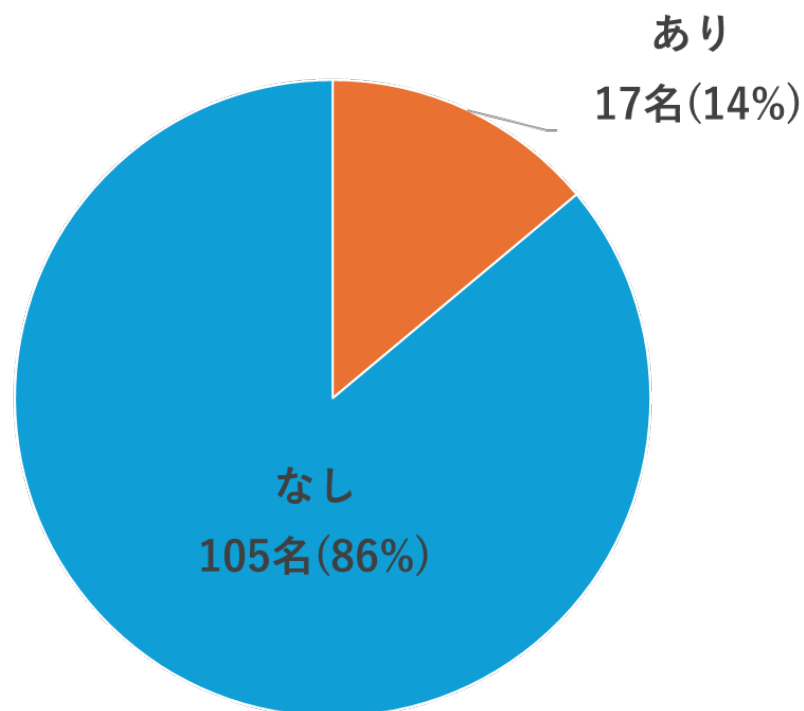
#### ①就労に関する相談窓口の周知状況 (n=122)

#### 相談窓口の認知度



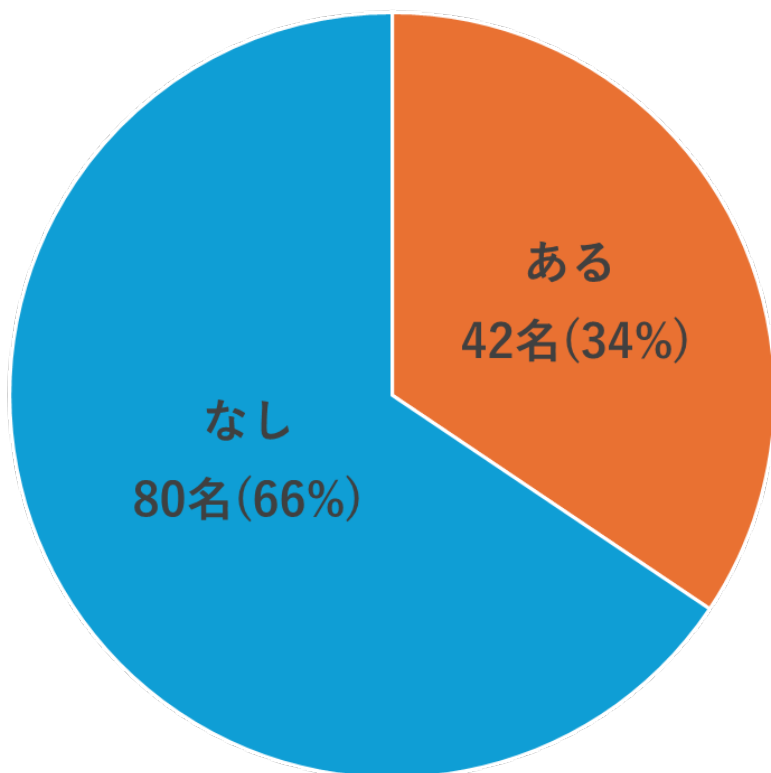
相談窓口の認知度は35%

#### 相談窓口の利用の有無



相談窓口の利用者は14%

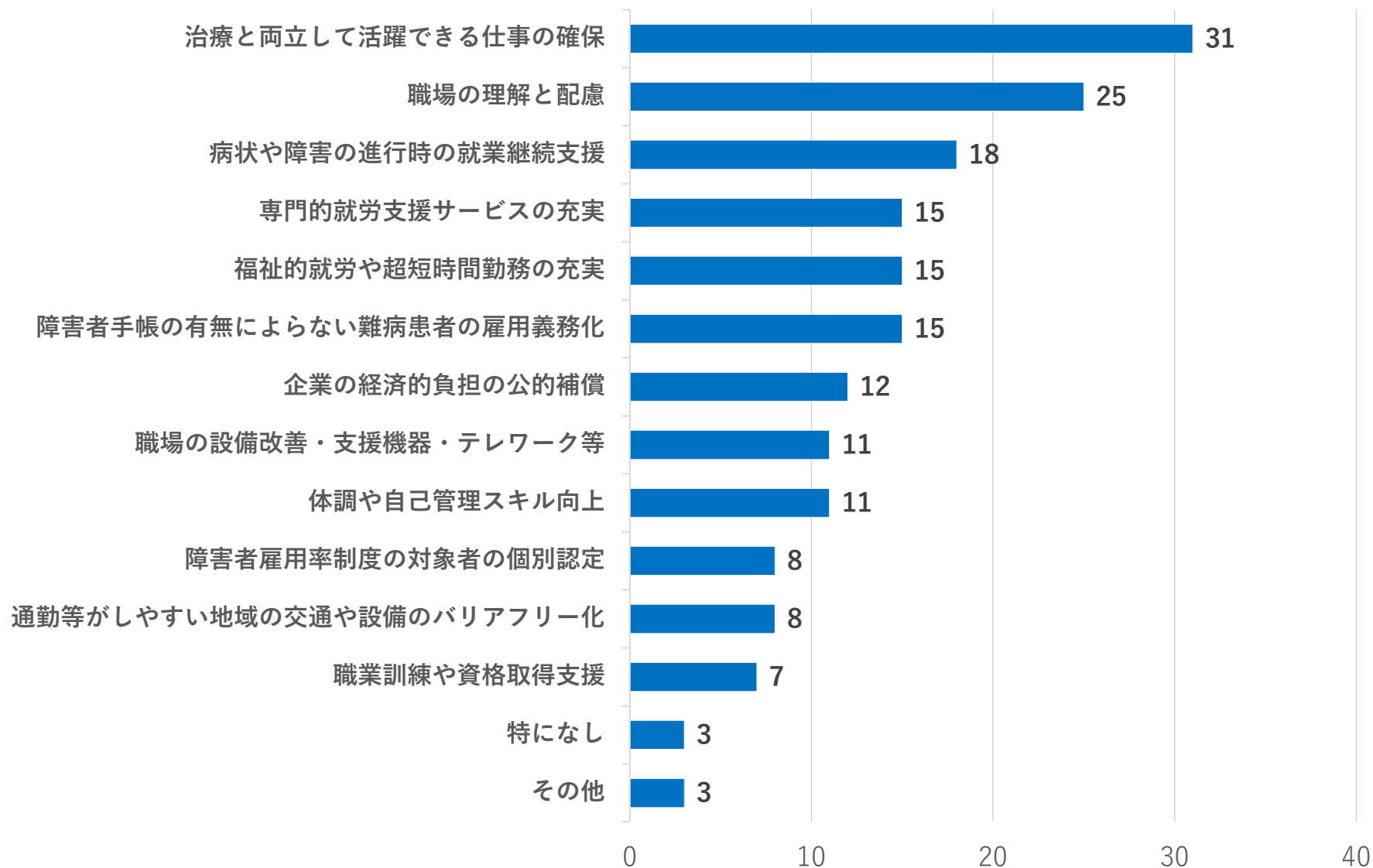
### ②就労（又は就職活動）に関する困りごとの有無 (n=122)



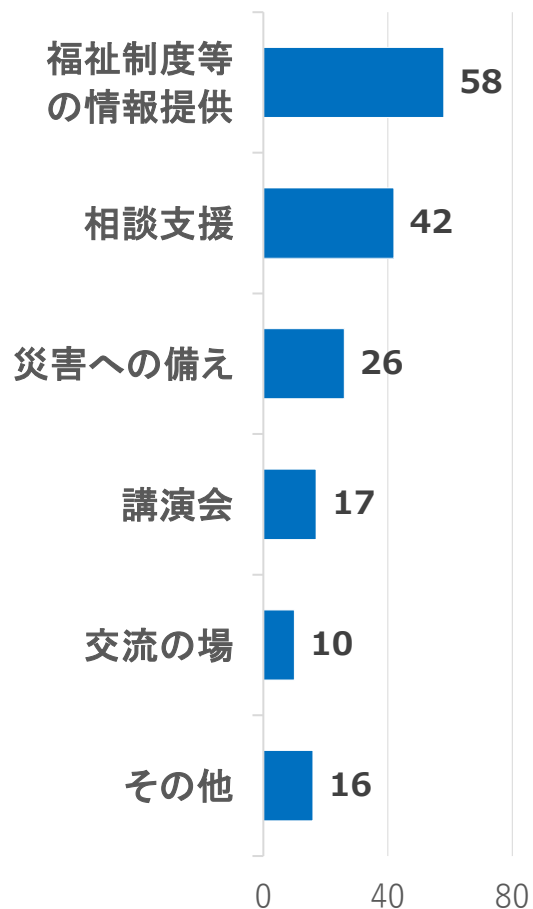
#### 「ある」と回答した疾患群

	障害者手帳 なし	障害者手帳 あり
神経・筋疾患	4	8
免疫疾患	10	2
循環器疾患	0	1
消化器疾患	9	1
内分泌疾患	0	1
血液疾患	1	0
骨・関節疾患	3	2
計	27	15

### ③希望する就労への支援（複数回答可） (n = 122)



### ④希望する療養生活への支援（複数回答可）（n = 146）



	福祉制度等に関する情報提供	相談支援	災害への備えの周知	病気や福祉制度等の講演会	難病患者・家族の交流の場	その他
神経・筋	17	8	3	5	2	1
代謝	0	1	0	0	0	0
染色体・遺伝子異常	0	0	0	0	0	0
免疫	18	19	10	3	4	5
循環器	1	1	1	1	1	0
消化器	13	6	7	7	1	5
内分泌	3	1	0	1	0	2
血液	0	0	1	0	0	0
腎・泌尿器	2	2	0	0	0	0
呼吸器	0	1	1	0	0	1
皮膚・結合組織	1	1	1	0	0	0
骨・関節	3	2	2	0	2	2
聴覚・平衡機能	0	0	0	0	0	0
視覚	0	0	0	0	0	0

# 4 相談支援窓口一覧 (チラシ) の作成 II. 活動内容



## 難病と診断されたみなさまへ ～相談窓口一覧～

治療を続けていく中で、体調や生活のことについてお困りのことはありませんか？  
一人で抱え込まず、どうぞご相談ください。

### ●難病について

内容	窓口	問合せ先
医療費助成、療養等の相談	宮崎県都城保健所	0986-23-4504 音声案内「1」→「1」
療養生活に関する相談	宮崎県難病相談・支援センター	0985-31-3414

### ●介護保険について

訪問介護や通所介護、短期入所、住宅改修等のサービスを利用したい。

内容	窓口	問合せ先
介護保険サービスの利用 ※65歳以上の方 ※40～64歳の特定疾病該当者	都城市介護保険課 三股町高齢者支援課	0986-23-2114 0986-52-9063

### ●障がい福祉サービス等について

障がい福祉サービス、日常生活用具の給付、身体障害者手帳等の申請をしたい。

内容	窓口	問合せ先
障がい福祉サービスの利用 日常生活用具の給付 身体障害者手帳	(障がい福祉サービスの申請) 都城市障がい福祉課	0986-36-8714
	(その他の申請) 都城市障がい福祉課	0986-23-2980
	三股町福祉課	0986-52-9061

### ●年金・手当について

障害の程度が重度になったため申請をしたい。

内容	窓口	問合せ先
特別障害者手当 ※20歳以上の在宅の方	都城市障がい福祉課 三股町福祉課	0986-23-2980 0986-52-9061
障害年金 ※20歳以上65歳未満の方 ※共済組合にご加入の方は 共済組合へご相談ください	都城市保険年金課 三股町町民保健課 都城年金事務所	0986-23-2629 0986-52-9631 0986-23-2571

### ●就労について

※「難病と診断されたみなさまへ～お仕事について～」リーフレットがあります。

仕事と治療の両立が難しい。症状に合った働き方をしたい。

内容	窓口	問合せ先
就労の相談	ハローワーク都城	0986-22-1745 (部門コード:43#)
	みやこのじょう障害者就業・生活支援センター	0986-22-9991
	宮崎障害者職業センター(宮崎市)	0985-26-5226
	宮崎産業保健総合支援センター(宮崎市)	0985-62-2511

### ●その他の福祉窓口

生活に困っており、利用できる制度を知りたい。

	窓口	問合せ先
都城市	ふくしの相談窓口(都城市社会福祉協議会)	0986-46-5325
	障がい者(児)基幹相談支援センター	0986-26-0294
三股町	三股町社会福祉協議会	0986-52-1246
	障害者基幹相談支援センター	0986-57-7337

## 難病患者会情報

～病気や治療、日常生活などについて話してみませんか～

### 【県内で活動している団体】

※活動の詳細はホームページをご覧ください。

団体名	連絡先
全国パーキンソン病友の会 宮崎県支部	電話 090-3663-4208 (事務局代表:甲斐) ホームページ <a href="https://www.jpda-miyazaki.org/">https://www.jpda-miyazaki.org/</a>
全国パーキンソン病友の会 宮崎県支部 都城ひまわり会(都城支部)	電話 090-1192-5446(事務局:綿屋)
日本 ALS 協会 宮崎県支部	電話 090-7448-3721 (事務局:米田) Facebook 日本 ALS 協会宮崎県支部
九州 IBD フォーラム IBD 宮崎友の会 ※IBD:潰瘍性大腸炎、クローン病	メール snow03110416@gmail.com ホームページ <a href="https://9-ibd.net/">https://9-ibd.net/</a>
宮崎県網膜色素変性症協会(JRPS 宮崎)	電話 090-1970-9649 (担当:竹森) ホームページ <a href="https://jrps.org/">https://jrps.org/</a>
宮崎県腎臓病協議会 ※慢性腎不全(人工透析)患者が中心の患者会	電話 0985-27-0822 (担当:横山) メール miyajinkyu1973@outlook.jp
日本オストミー協会 宮崎県支部	電話 090-1970-2688(支部長:甲斐) ホームページ <a href="https://jjo-net.org/">https://jjo-net.org/</a>
全国心臓病の子どもを守る会 宮崎県支部	電話 090-5948-2287(事務局:田口) ホームページ <a href="https://www.heart-mamoru.jp/">https://www.heart-mamoru.jp/</a>

### 宮崎県難病相談・支援センター主催の「患者家族交流会」

日程等の詳細は、ホームページをご確認ください。  
ホームページ <https://miyazakinanbyo.com/>  
電話 0985-31-3414 FAX 0985-41-7677  
メール miyanan-c@bird.ocn.ne.jp



### 難病情報センター

全国の患者会情報を紹介しています。  
難病法に基づき医療助成の対象となる疾患の解説や各種制度の概要  
及び各相談窓口、連絡先などの情報を提供しています。  
ホームページ <https://www.nanbyou.or.jp/>



※スマートフォンで二次元バーコードを読み取ると、ホームページが見られます。

都城北諸県地域難病対策協議会 令和8年3月作成  
(宮崎県都城保健所健康づくり課 TEL:0986-23-4504)



### ● 「就労」をテーマに協議会及び作業部会を実施

#### ⇒ **難病患者への就労支援の現状や課題を整理**

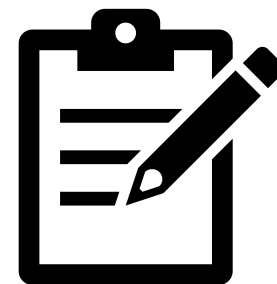
- ・ 関係者間で難病患者への就労支援の必要性の共通理解を図ることができた
- ・ これまで連携が希薄であった就労支援機関と顔の見える関係を構築できた

### ● 就労支援窓口の整理及び情報提供

#### ⇒ **相談しやすい体制を整えることができた**

- ・ 保健所への就労に関する相談件数の増加
- ・ 作成したリーフレットを見て、宮崎県難病相談・支援センターへの相談を通じて、他の就労支援機関につながった事例あり

### アンケート調査結果から



- 相談窓口の認知度が35%
- 「就労に関する困りごと」を抱えているのは、障害者手帳を所持していない免疫疾患、消化器疾患の患者に多くみられた

## 【課題】 就労支援機関の認知度の向上

### ＊ 障害者手帳を所持していない難病患者

- ・ 障害者雇用率制度の対象外
- ・ 体調の良い時には症状や生活の支障も少なく外見からも困難性は分かりにくい

利用可能な制度やサービス、相談窓口に関する情報が行き届かず、適切な支援が受けられないまま、転職や退職を余儀なくされる可能性が高いと考える



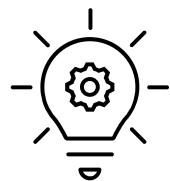
就労支援に関する相談窓口の周知徹底は重要

### 就労支援 相談窓口一覧

(リーフレット、ポスター)

### 福祉制度等の 相談支援窓口一覧

(チラシ)



### 「治療と仕事の両立」のため・・・

難病患者が一人で悩みを抱え込まずに、自身の病状や障害に合わせ、適切な専門支援機関に相談できるように、継続的に啓発ツールの配布を行う

### 難病患者の「治療と仕事の両立」

多角的な視点からの支援が不可欠である。  
引き続き、関係機関との連携強化を図りながら、  
難病患者の就労支援に取り組んでいきたい。